

市指定天然記念物イヌマキの状況について

令和3年6月に所有者から剪定に向けた樹勢確認依頼があったため、青木委員に調査を依頼したところ、成育不良の状況であり、樹木医の診断を仰ぐべきであるとの指導を受けた。

その後、10月14日に所有者、造園事業者、市による立ち合いの下、樹木医（神奈川県大和市：吉田樹木医）による現地調査を実施し、絡み枝や枯れ枝を中心とした剪定であれば耐え得るといった内容の調査報告書を受領した。

所有者は、費用や美観等の側面から強剪定を強く希望されていることから、調査報告書に基づく指導を行いながら、令和4年3月に市職員立ち合いの下での剪定を実施した。令和4年6月現在においては、著しい生育不良は見受けられないが、今後も注視し、適宜、対応を行う必要がある。

なお、調査報告書内には、土壌改良を推奨する旨の記載があったが、当該樹木下段の法面に公道を通す計画があり、土壌改良を行っても土が掘り返されてしまうことから、工事担当課と土壌改良等の時期を調整している。

【平成19年8月撮影写真】（かながわ名木100選調査時）

南側

東側



【平成20年3月撮影写真】（青木委員提供） →枝先まで旺盛な成育を示す。

南側



【令和3年6月撮影】 一枝枯れが進行しており、枯死の危険あり。
南側 北側



【令和4年6月撮影】
北側

